

- **地域振興**
花でいっぱいプロジェクト
- **健康福祉**
研修会、フードドライブ等
- **子どもを育む**
体験学習事業・各地区の活動
- **生活安全**
防犯パトロール・交通安全運動
- **消防団**
飯田市消防技術大会
- **環境衛生**
お天道様が見ているほか

～景観まちづくり～

「かなえを花でいっぱいプロジェクト」がスタート

県地区を東西に横断する県道青木東線沿線の「快適空間」を将来に亘って維持していくために、看板規制や花の香りがするまちづくりなど、「景観まちづくり」に向けた取り組みがスタートしました。

各家庭における花づくりを起点に「点から面に拡大」していくため、新たに「ガーデニング講習会」と「ガーデニングコンテスト」を軸に、関心のある方々が、まちづくりに参加できる場を設けています。今後とも、花づくりに向けアドバイザーの直接的なアドバイスを受けながら、プロジェクトの輪を広げてまいります。



**ガーデニング講習会
に多くの方々が参加**
アドバイザー 北原 未貴



ガーデニング講習会 ステップ1

小さい時から花が好きで、将来の夢はお花屋さんでした。好きが高じて、今は庭をデザインや花苗を育てて販売しています。そしてご縁があり、この春から「かなえを花でいっぱいプロジェクト」のアドバイザーとして関わらせていただくことになりました。先日行われたガーデニング講習会では、告知直後から多くの申し込みがあり、皆さんの関心の高さに驚きました。初回は寄せ植え作り、2回目は庭づくり。皆さん熱心に聞き、手を動かし、植物を植えることを楽しんでいただきました。



ガーデニング講習会 ステップ2

私は6年前に主人の地元である飯田市鼎に転居しました。きれいな水、雄大な自然を日常とするこのまちは、とても魅力的です。こんなに緑に囲まれている一方で、花やガーデニングについて知れる場はあまり多くないように感じています。植えるのも育てるのも、ちよつとのコツでより良くなります。鼎がもっと花を楽しめるまちになるように、技術や知識の面でお役に立てたらうれしいです。今後いろいろな企画をしていきますので、ぜひお友達を誘ってご参加ください。

8月2日の午前中、上山区民センターにおいて、初の県地区景観づくり推進会議が開催されました。当日は、委員への委嘱状交付のほか、推進会議の目的と役割や今後の進め方について、各委員から、様々な発言がありました。また、市の地域計画課の職員からは、「景観行政団体」として、今後とも、ルールづくりに向けた支援を行うとの発言がありました。今後は、沿線周辺の皆さんにも参加していただく場を設け、ルールづくりのための機運を高めてまいります。



推進会議であいさつをする奥村会長

**景観づくり
推進会議を設置**
建設部長 前澤 清隆

令和7年度 県地区パワーアップ事業一覧(一次分)

No	事業名	申請団体等	助成額(円)
1	コミュニティのデジタル化(結ネットによる地域ICプラットフォーム)事業	下山区6班	87,000
2	長期休みの子どもの居場所づくり事業	あんじやない会	51,000
3	切石長期夏休み小学生のつどい事業	小学生のつどい実行委員会	58,000
4	多世代交流(きつずカフェきりいし)事業	虹の会	123,000
5	あかり一緒に食べまい会事業	社会福祉法人 萱垣会	126,000
合 計			445,000

このたび、本年度の県地区パワーアップ事業一次分が、まちづくり委員会の役員会において決定されました。今年度の助成対象事業は、子どもや高齢者の居場所づくりに関する案件が多く、まちづくり委員会の本年度の重点事業である「地域における居場所づくり」を補完していただく取り組みとして期待されています。助成対象とした団体等は、5団体で、助成額は総額44万5千円となりました。

**県地区パワーアップ
事業(二次分)を決定**

健康福祉

健康福祉委員会 研修会

西郷支部長
多田 尚登

健康福祉委員会の研修会が6月18日に鼎公民館で開催されました。以前は現地視察研修を行っていましたが、コロナ以降施設側の受入れの規制もあるため、今回は、鼎地区または近隣の地区で介護保険事業を行っている事業所の職員の方々に講師としてお招きし、介護保険事業について研修を行いました。

最初に、かなえ包括支援センターの職員の方から、介護保険の基本的なお話をいただいた。その後「デイサービス」「デイケア」「サービス付高齢者住宅」「グループホーム」「介護老人保健施設」の5つの施設の職員の方々に、サービスの内容と制度について説明をしていただきました。



健康福祉委員会研修会

各施設の重要性や多様なサービスについて学ぶことができ、大きな支えになっていると感じました。2時間の長時間でしたが、参加者も、今まで分からなかったことが理解でき、また、改めて知ったこともあり、勉強になったと思います。

研修会の感想と利用している側で思っていることとして、「需要に対して介護施設が少ない」「老人保健施設など利用期限がある」「入所条件としてある程度自力で歩行ができる必要がある」「資金面で高額である」「自宅介護となつた場合の家族の大きな負担」など改善して欲しいことや、将来にわたる不安なこともでてきましたが、健康福祉委員の活動に活かしていく研修会でした。

フードドライブにご協力を

中平支部長
桜井 陽子

晴天の中、5月3日のワンデーマーチ及び6月8日のペタンク大会開催に伴いフードドライブを実施しました。

梅雨の時期もあり、実施が危ぶまれましたが、いずれも無事に実施できたことは大変嬉しく思っています。

フードドライブは、家庭等で余っている食品を回収して、福祉施設や子ども食堂等必要とされている方にお届けする活動で、飯田市社会福祉協議会内の飯田市ボランティアセンターで実施しています。

ワンデーマーチでは、44点(13.8kg)、ペタンク大会では14点(5.5kg)のご協力を



フードドライブ(ペタンク大会)

いただきました。また、ワンデーマーチに参加できない方が、フードドライブのためだけに、わざわざ品物を届けてくださるケースもあり、皆様方のご協力に心よりお礼申し上げます。

近年物価高で、フードドライブは、なかなか集まらないのが現状です。ご家庭で使うご予定がない食品がございましたら、ご協力いただけると大変有難く思います。イベント以外でも鼎自治振興センターで受付をしています。皆様の温かいお気持ちを寄せてくださりますようお願いいたします。

心のこもった絵手紙

ボランティア部会長
(上茶屋) 原 恵美子

健康福祉委員会では、ひとり暮らしの高齢者等の見守り活動を実施していますが、地域との交流の機会が減り、寂しい思いをしている方もいます。そのような方々を、元気づけるとともに、地域とのふれあいを感じていただけるように年始状として、絵手紙をお送りしています。

絵手紙は、毎年、鼎小学校4・5年生と鼎中学校生徒に



講習会での絵手紙作品

お声がけをし、講習会を開催し作成しています。今年も7月5日に鼎公民館で、上山在住の小森ゆみ子先生を講師にお迎えし、中学生2名、健康福祉委員会ボランティア部会員で行いました。用意した題材は、ダルマ、コマ、羽子板の羽根、果物、野菜などで、その題材と、にらめっこしながら、「ハガキ」いっぱい下書きをして色付けをします。上手に描こうとしないで、自分らしさを出し、心を込めて一生懸命に描いた絵手紙は、伝えたい気持ちがストレートに伝わり言葉は少なくても、心に響いてくるものがあります。11月の「ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭」でも、絵手紙制作コーナーを予定していますので、是非お立ち寄りください。



体験学習事業

6月28日(土)に鼎小学校児童を対象として、子どもを育む委員会主催の体験学習事業「サイエンスショー」超低温の不思議な世界〜&ふわふわUFOを作ろう」を実施しました。



子ども達の、風船や花を液体窒素に入れるとどうなるか興味津々の姿や、ふわふわUFOをできるだけ遠くに飛ばそうと必死な姿をた



くさん見ることができました。参加者が協力し、事業は大成でした。

上茶屋 元気な子ども達

上茶屋区ではこの夏、納涼祭・花火大会を開催しました。今年度は、ビンゴ大会から始めました。その後、ミニ縁日子ども達に楽しんでもらいました。



花火大会では、パラシュート花火を打ち上げました。子ども達が元気にパラシュートを取りに走っていました。

子ども達の元気で楽しそうな声をたくさん聞けて、こちらも楽しい気持ちになりました。

上山 夏★夏 夏休み！

猛暑！ 暑さがきつい夏。7月26日に上山区納涼祭を楽しんだ子ども達、28日、29



日の平日開催とした『夏休み宿題やらまい会』にも大勢が参加してくれました。今年のボランティアには高校生の協力があり、お兄さんお姉さんとの関わりが嬉しく気持ちも高まっていたようです。



夏休みの宿題への取り組みの他、大型絵本の読み聞かせ、水引細工の製作、プラバン工作、そして、矢高神社秋季祭典に向けての子ども神輿作りと盛りだくさんの内容でしたが、2日間で延べ86名の小学生が参加して今回の事業を終えることができました。多くの地域の方々とボランティアの皆さんに感謝します。

ありがとうございました。



名古熊 夏の令和稲井学校を終えて

夏季令和稲井学校が7月26日、28日の3日間、名古熊公民館と名古熊神社で行われました。主に小学生が集い、学習やさまざまな体験を通して楽しいひとときを過ごすことができました。

稲井学校は、夏休みと春休みに子どもの居場所づくりの場として開催し、健全育成と地元での思い出作りの場にもなっています。

毎日1時間の勉強会の後、初日は高齢者クラブ「悠悠クラブ」の



主催で「七夕飾り」を行い、七夕の由来や飾り物の意味などを学びながら、一人5枚ずつ短冊に願い事を書いて笹に飾りました。2日目は、子どもを育む委員会主催で「流しそーめん」を行いました。今年度はメロンとスイカが好評で、笑い声が絶えませんでした。3日目は、かざこし子ども森公園に協力していただき「うちわ作り」を行いました。好きな絵を描き、好きな色で染めるなど、自分の個性を表現できる楽しいうちわ作りでした。



学年を越えたコミュニケーションや大人との交流の機会として、大切な行事であると感じました。



名古屋区夏の防犯パトロールの実施

名古屋支部長
森下春記

生活安全委員会では、犯罪の無い「安全で安心して暮らせるまちづくり」の実現を目指し、地域安全運動期間に合わせ夏と冬の年2回、各地区内の防犯パトロールを実施しています。

名古屋区では8月11日(月)小雨が降る中でしたが実施しました。区内にはコンビニや大型店等が多くあり、また高校や保育園もあるので通学路等点検箇所が多いため3つのグループに分けてパトロールを実施しました。店舗では、店員さんに防犯パトロールで回っている事を伝え、防犯上の懸念事項や問題点等はないかお聞きして回りました。幸いなことに特に問題は無いと

のことで安心しました。各店舗の店員さんからは、「お世話になります。ご苦勞様です。ありがとうございます。す」等のお声を頂き、生活安全委員一同やりがいを感じました。冬の防犯パトロールも頑張ります。



夏の交通安全やまびこ運動

7月11日(金)
~20日(日)

上山支部長 池戸勝志

夏の交通安全やまびこ運動の初日7月11日(金)の朝7時、切石体育館前の交差点に鼎地区生活安全の正副委員長と上茶屋、切石、上山、一色、名古屋の交通指導員・女性部員、市職員、名古屋交番の警察官が集まり交通安全に関わる注意喚起ののぼり旗を掲げ、出勤途中のドライバーに向け、交通マナーの注意喚起を呼びかけました。

また、13日(日)には同じ交差点にて、交通指導所を開設して、鼎地区の生活安全正副委員長と各地区の支部長、名古屋交番の警察官の方が集まって交通安全に関わるチラシとポケットティッシュ、絆創膏を入れた袋を信号待ちをしている運転手の皆さんへ手渡ししながら交通安全への呼びかけを実施しました。

春季非常召集訓練

6月29日(日)の朝、東鼎おしか歯科医院付近で飯田市消防団第15分団の春季非常召集訓練が行われました。

生活安全委員会からは3名が参加し、実際の火災現場を想定して消防団員と協力して非常線を張り交通規制を行うことができました。



★人波ルート作戦★



★交通指導所の開設★





飯田市操法大会

今年度の飯田市消防技術大会は6月8日(日)に開催されました。

大会は消防ポンプ操法(ポンプ車、小型ポンプ)の部、救急操法の部に分かれており、15分団からはすべての部門に出場しました。

例年より大会開催日が早いこともあり、練習期間が2カ



月に及びましたが、各団員が仕事、家族との時間の合間を縫って練習に励んだ結果、15分団として救急操法の部で3位に入賞することができました。ポンプ操法の部では惜しくも飯伊大会への出場とはなりませんでしたが、選手のみなが練習の成果を出せていたと思います。

この大会を通じて得た消防・救護技術を有事の際に生かしていきたいと思います。



切石国道班新小型ポンプ積載車納車

令和7年7月に、切石国道班の新小型ポンプ積載車が納車となりました。

今回の車両はハイエース型となり、15分団では切石上班に続く3台目のハイエース型の車両となります。今までのトラックタイプの車両と仕様が大きく異なることや、新しい装備が搭載されていることから、飯田消防署にて業者様から車両説明会を7月19日(土)に実施いただき、それぞれの団員が新しい車両の説明を受けました。有事の際に有効に使用できるように訓練に励んでいきたいと思います。

矢高諏訪神社秋季祭典煙火警護活動

夏季における各地区のお祭りには、花火の打ち上げに伴う火災の防止を主とした警護を実施しています。8月16日(土)に行われた矢高諏訪神社秋季祭典煙火打ち上げにおきましても、警護活動を実施しました。

当日は例年夕立があり、竹



林等への散水不要となっておりましたが、今年度は晴天だったこともあり、通常実施している散水作業は行いました。花火打ち上げ時と連合大三国時の警護についても通常通り実施しました。

一部花火の燃え残りが落下してくることはありませんでしたが、大きな問題等はなく、無事終了しました。

およりてファーム 夏祭り

7月21日(月)東鼎のおよりてファームの夏祭りにおいて車両の展示を行いました。防火服の試着や運転席への乗車体験等行いました。天候もよく多くの子ども連れの方に体験していただきました。

消防団では今後もこのような子どもも楽しめるイベントがございますので、機会があ

ればぜひ参加してみてください。

団員募集のお知らせ



消防団員募集
有事の際に活躍できる団員を募集しております。準中型免許、小型車両系建設機械などの資格をとることもできます。

気になる方はお近くの消防団員、またはお近くの消防詰所までお気軽に声をかけてください。

電話

090-3558-6359

メール tutugasira@gmail.com



環境衛生

環境衛生活動に携わって

切石支部長 河地俊宣

切石地区の環境衛生活動は主に、偶数月の第1土曜日に実施される空き瓶・ペットボトル・アルミ缶の回収を行っています。中学生のボランティアの方々に参加していただき大変作業がはかどりました。

6月29日に実施された全市一斉水辺等美化活動では、早朝から近隣河川内の草取りや



ごみ拾いを行い、また環境衛生部員・役員・各組長による松川堤防道路沿いの草刈りを総勢432名で行いました。また春に行われたごみゼロ運動では総勢411名の参加がありました。

これらの活動や他の事業部の活動についても、年々参加者の高齢化が進む中、怪我や体調等についての懸念があります。今後も地域の活動を継続していくためには、若年層の協力が必要となり積極的に参加をしていただけるような体制づくりが求められていると思います。



お天道様が見ている

一色支部長 岡島 治

任期もあと半年程となりましたが、ごみ出しのルールや

分別も分からない私が環境衛生委員を経験させていただき、皆様方が毎日のごみ出し、年3回の河川清掃とごみ拾い、リサイクルステーションの活用等を通じて、この地域の美化活動に積極的にご参加ご協力をお願いでき大変有難く感謝するばかりです。私達の活動は生活に密着しており停滞を許してくれません。地域にのみ、空き缶、ペットボトル、河川にはビニール袋に入った家庭ごみ等が投棄されているのを見るとなだても嫌な気分となり、このようなことのない地区であって欲しいと願うと思います。時には委員として投棄されているごみの後片付けや分別を行います。あまり良い気分ではありません。近年ルールを守らない方が増えていてのではないかと思います。ルールやモラルに従って日常を行動されていると思います。ごみ出しガイドブックに従ってごみを収集所に出す、リサイクルステーションを利用して空き瓶、ペットボトル、アルミ缶を出せば家庭内のごみの8割程度は常に整理ができるのではないかと思います。

全ての行動に通じますが「お天道様が見ている」この単純な言葉の精神は自身の心が浄化がされ正直で誠実に生きることに、悪事を働かない大切さだと思っています。

誰からも罰せられることのない日常ですが、この言葉を心の片隅に置いて生活していただければ不法に投棄されるごみも減るのではないかと思います。

皆様方が他の人の事を考え



「全市一斉水辺等美化活動」各地区実施結果

地区名	活動内容	参加人数(人)
下 山	・河川、井水、水路の除草清掃 ・側溝内の草取り、清掃 ・コンクリート壁苔取り・ごみ拾い	290
東 鼎	・河川清掃 ・草取り ・草、土砂を仮置き場へ運搬	72
西 鼎	・ごみ拾い	48
下茶屋	・河川の草取り・ごみ拾い ・側溝、用水路の清掃 ・草を軽トラにて仮置き場へ運搬	126
中 平	・河川、道路の草取り ・ごみ拾い ・河川の泥上げ	250
上茶屋	・側溝、道路の清掃 ・草、土砂を仮置き場へ運搬	63
切 石	・河川除草作業 ・ごみ拾い・側溝泥だし ・中央道側道沿い側溝泥だし及び除草	432
上 山	・河川清掃(草除去、ごみ拾い) ・川底の砂上げ、U字溝の掃除 ・街路樹下の草取り・ごみ拾い ・砂利等除去・苔落とし	414
一 色	・河川清掃 ・自宅周辺のごみ拾い ・大井水取入口からの草刈り	120
名古屋熊	・側溝の土上げ・河川清掃 ・道路、側溝、公園のごみ拾い ・道路の草取り・土手の草刈り	282
合 計	—	2,097

鼎地区の2千人以上の
方々にご協力を頂き
鼎地区が大変きれいになりました。
私たちの街をこれからも美しく
保つため今後もご協力
をお願いします。



かなにゃん

全市一斉水辺等美化活動
6月29日(日)実施されました

て行動される姿勢は大切で、これからも他人の悪行は気にせず今のままで日常を続けていただきたいと思っています。最後になりますが、ごみを回収していただいている業者の皆様方、また、この委員となり活動を支えている方々にも感謝申し上げます。